

様式第23号（第74条関係）

温室効果ガス削減計画書

平成28年7月28日

広島県知事様

広島県安芸郡坂町平成ヶ浜四丁目1-103

中国電力株式会社

提出者

柱上変圧器リサイクルセンター



所長 河合 信男

広島県生活環境の保全等に関する条例第100条第1項の規定により、温室効果ガス削減計画書について、次のとおり提出します。

事業所の名称	中国電力株式会社 柱上変圧器リサイクルセンター		
事業所の所在地	広島県安芸郡坂町平成ヶ浜四丁目1-103		
計画の内容	別紙のとおり		
連絡先	担当部署 柱上変圧器リサイクルセンター 担当者氏名 徳政 賢治 電話番号 082-885-9133（代表）		
※受理年月日	年 月 日	※整理番号	
※備考			

注 1 計画の内容については、別紙によることとして、規則第74条第1項に掲げる事項及び対象期間について記載するものであること。

2 ※の欄には、記載しないこと。

3 用紙の大きさは、日本工業規格A列4とすること。

温室効果ガス削減計画

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

中国電力株式会社 柱上変圧器リサイクルセンター

(2) 事業所の所在地

広島県安芸郡坂町平成ヶ浜四丁目1-103

(3) 業種

3309 その他の管理, 補助的経済活動を行う事業所

(4) 事業所位置図

別紙のとおり

2 計画の期間

本計画の期間は、平成27(2015)年度を基準年度とし、平成28(2016)年度から平成29(2017)年度までの2年間とする。

3 計画の基本的な方向

○環境基本方針

エネルギーに携わる企業として環境保全・経済成長・エネルギーセキュリティの同時達成による持続的発展が可能な社会を実現するため、以下の3方針に基づき、常に環境を大切にすることを心がけて行動します。

1. 地球温暖化対策をはじめ、循環型社会形成の推進、地域環境保全の推進などの課題に、積極的に取り組みます。
2. 環境保全に関する対話や活動など、地域・社会との双方向コミュニケーションを積極的に展開します。
3. コンプライアンスを最優先に、環境マネジメントを着実に実践します。

○環境行動指針

1. 地球温暖化対策の推進
2. 循環型社会形成の推進
3. 地域環境保全の推進
4. 省エネルギーの普及・促進
5. 環境コミュニケーションの推進
6. 環境マネジメントの実践

4 温室効果ガスの排出状況（二酸化炭素換算）

【エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果 ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)		
	平成2年度	基準年度 平成27年度	直近年度 平成27年度
二酸化炭素	/	9,257	9,257

【非エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果 ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)		
	平成2年度	基準年度 平成 年度	直近年度 平成 年度
二酸化炭素	/	/	/

【その他温室効果ガス】

温室効果 ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)		
	平成2年度	基準年度 平成27年度	直近年度 平成27年度
メタン	/	/	/
一酸化二窒素	/	/	/
HFC PFC SF ₆	/	630	630

5 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO₂)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成27年度)	削減目標		目標年度 (平成29年度)
	排出量 (a)	削減率 (b)	削減量 (c)	排出見込量 (d)
エネルギー起源CO ₂	9,257	59.8	5,542	3,715
非エネルギー起源CO ₂				
メタン				
一酸化二窒素				
フロン類	630	2.0	13	617
温室効果ガス 実排出量総計	9,887	56.2	5,555	4,332
温室効果ガス みなし排出量				
目標設定の考え方	エネルギー起源CO ₂ は、予測排出量に対し、年平均1%の削減 フロン類は、年平均1%の削減			

※ 削減率(b) = (c)/(a) × 100 削減量(c) = (a) - (d)

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：

単位：排出量(t-CO₂)，原単位量(kg等)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成 年度)			原単位 削減目標	目標年度 (平成 年度)		
	排出量 (a)	原単位 数値 (b)	原単位 (c)	削減率 (d)	排出 見込量 (e)	原単位 見込数値 (f)	原単位 見込 (g)
エネルギー起源CO ₂							
非エネルギー起源CO ₂							
メタン							
一酸化二窒素							
フロン類							
総排出量							
エネルギー消費原単位 (原油換算k1)							
目標設定の考え方							

※ 削減率(d) = {(c) - (g)} / (c) × 100 原単位(c) = (a) / (b) 原単位見込(g) = (e) / (f)

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置項目及び目標並びに具体的な取組み等

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組み

	項目	数値目標	具体的な取組み
1	電気使用量の削減	予測排出量に対し、年平均1%以上削減に向けた取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・所内電力量の把握 ・昼休み事務所照明の消灯 ・退社時のPC、携帯電話の電源切
2			
3			
4			

※ 原単位で作成する場合は、数値目標欄の記載例中、「使用量」を「原単位」に適宜読み替えること

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組み（環境価値の活用等）

	種類	合計量
1	なし	
2		
3		

○ その他の取組み

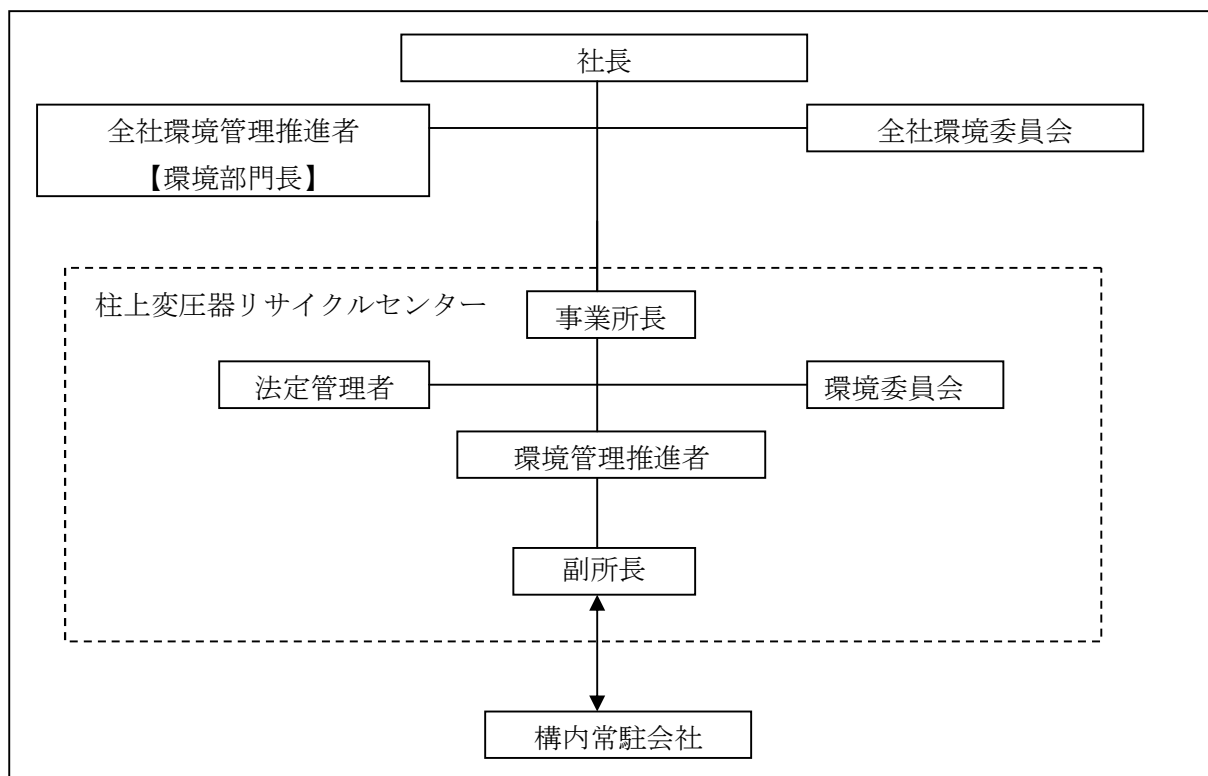
	項目	数値目標	具体的な取組み
1	事務用紙使用量の削減	前年度実績以下	<ul style="list-style-type: none"> ・電子承認手続きの活用 ・事務用紙使用量の把握（用紙の裏面利用，両面印刷の活用）
2	環境保全活動の推進	1回/年	<ul style="list-style-type: none"> ・地域環境行事等への参加
3	環境教育の実施	1回/年	以下の環境教育を実施 <ul style="list-style-type: none"> ・一般環境教育（全所員対象） ・転入者教育（転入者対象）
4	環境管理等に関する知識向上	1回/年	<ul style="list-style-type: none"> ・環境管理研修会を実施（環境関連業務従事者対象）

※ 環境に配慮した実践的な取組みなどをされていれば記入してください。

7 温室効果ガス削減計画の推進並びに実施状況の点検及び評価に関する方法等

(1) 推進・点検体制

ISO14001に準拠した環境管理体制を構築し，環境管理推進者（副所長クラス）を中心として，環境管理の推進・点検を実施している



(2) 実施状況の点検・評価

○環境委員会の設置

事業所の環境問題への取組みに関する重要事項と方針の審議，取組み状況のチェック・レビューを行う。

○環境内部監査

電源事業本部部長（火力）は，環境内部監査チームを編成し，環境管理について，定期的に監査を行う。

(3) 計画書等の公表

当社のホームページ上で公開する。